

平成 27 年 10 月 教育委員会定例会会議録

1 開会の日時

平成 27 年 10 月 23 日（金） 午前 9 時 30 分

2 出席委員

森 武 洋	委員長
荒 川 由美子	委員長職務代理者
齋 藤 道 子	委 員
三 浦 溥太郎	委 員
青 木 克 明	委 員（教育長）

3 出席説明員

教育総務部長	大川原 日出夫
教育総務部総務課長	大 川 佳 久
教育総務部教育政策担当課長	草 野 純 也
教育総務部生涯学習課長	高 木 厚
教育総務部学校管理課長	菅 野 智
学校教育部長	伊 藤 学
学校教育部教育指導課長	丸 瀬 正
学校教育部支援教育課長	丹 治 美穂子
学校教育部学校保健課長	藤 井 孝 生
学校教育部スポーツ課長	三 橋 政 義
中央図書館長	山 口 正 樹
博物館運営課長	稲 森 但
美術館運営課長	佐々木 暢 行
教育研究所長	武 田 仁

4 傍聴人 0名

5 議題及び議事の概要

- 委員長 開会を宣言
- 委員長 本日の会議録署名人に青木委員を指名した。

- 日程第2 議案第49号は、人事案件のため秘密会とすることを提案、「総員挙手」をもって秘密会とすることを決定。

- 教育長報告

(青木教育長)

それでは、平成27年9月5日から本日までの主な所管事項について、ご報告いたします。

まず、現在市立すべての学校で採用している二学期制により、10月9日に前期を終了し、秋季休業を挟み15日から後期が開始されております。

ただし、秋季休業最終日の14日には、中学校19校で長期休業日を利用した授業日とし、そのうち1校は13日にも実施いたしました。

学校行事として、中学校では9月12日(土)に16校、19日(土)に7校が体育祭を実施いたしました。両日とも、前日まで悪天候が続いていましたが、当日は絶好の日和となり、予定通り実施できました。前日までの天候で、集団演技等十分に屋外で練習ができなかったようですが、全ての学校で、それを感じさせない全校一体となった体育祭になっていたと感じました。

また、小学校では修学旅行が始まっています。

すでに、10月3日から9日において21校が終了していますが、1校は直前に消化器系の不調を訴える児童が多数に及んだことから、急遽中止し12月に延期をしております。

なお、残る24校については、10月26日から11月5日の間に実施を予定しています。

児童の科学の芽を育てるとともに、児童が制作した日常生活を豊かにする作品を発表する場としての「小学生創意くふう展」が、シルバーウィーク中の9月19日から21日に博物館の展示室で行われました。

気付きを形にすることは、科学者・技術者と成長していく第一歩なのだと感じたところです。

10月18日(日)には、不入斗陸上競技場で、「小学校児童陸上記録大会」が開催されました。

当初17日(土)の予定が、雨のため順延されての開催でしたが、市内全小学校から選抜された、男女の5・6年生約1,000人が、4種の競技とリレーで、全

でのスポーツの基本動作である、「走る」、「跳ぶ」、「投げる」を競い合いました。

それぞれの児童が、能力に応じて、自己の記録に挑戦している姿に、爽やかさを感じる大会となっていました。

成人対象の社会体育行事として、9月6日(日)に、不入斗野球場等と総合体育会館において、学区対抗の男性はソフトボール大会、女性はバレーボール大会が開催されました。

55回目を迎えた今年の大会では、ソフトボールは27チーム、バレーボールは30チームが参加し、熱戦が展開されました。

最後に、8月28日から開催されていた第3回市議会定例会は、平成26年度決算を含め、本委員会関連の議案・陳情・報告事項等についても全て可決・承認され、10月6日に閉会いたしました。

私からの報告は、以上でございます。

(三浦委員)

修学旅行の直前に消化器系の不調を訴える児童が多数とは、給食とは関係なかったのですか。

(青木教育長)

修学旅行へ行く6年生だけ急性胃腸炎ということですので、給食が原因なら、全学年に及ぶだろうということで、学校医の診断も給食ではないということでした。

(森武委員長)

この小学校は、どちらの方に修学旅行を予定されているのでしょうか。

(教育指導課長)

日光方面です。

(森武委員長)

12月ということで、日光方面ですと、冬に入ると秋とは違う天候になると思うのですが、予定どおりできるのか、冬に入るので何か予定変更するのか考えていらっしゃるのでしょうか。

(教育指導課長)

以前も天候等の事情でこの時期に実施した学校もありますので、そういった

ところを参考にして学校で計画を立てたいと思っています。基本的には今までと同じ散策等を予定していますが、やはり冬の時期ですので、積雪などがありましたらそこは考慮するようにと考えています。

(森武委員長)

配慮されているということですので、よろしく願いいたします。

日程第1 議案第48号『平成28年度横須賀市立横須賀総合高等学校に入学する生徒の募集人員について』

委員長 議題とすることを宣言

(教育指導課長)

議案第48号「平成28年度横須賀市立横須賀総合高等学校に入学する生徒の募集人員について」ご説明します。

平成28年度の募集人員は、お手元にごございます議案のとおり、全日制の課程において320名、定時制の課程においては70名であり、昨年度と同じ数になります。

なお、募集人員については、県立高等学校を設置する神奈川県、市立高等学校を設置する横浜市、川崎市も、それぞれの教育委員会に対し、「平成28年度各高等学校に入学する生徒の募集人員について」を付議することになっています。

県教育委員会は、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市の各教育委員会終了後、高等学校に入学する生徒の募集人員に関する公式記者発表をおこないます。また、本年度の記者発表の日程は、10月27日(火)午後2時からとなっておりますことを、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

以上で、説明を終わります。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

質問・討論なく、採決の結果、議案第48号は、「総員挙手」をもって、原案どおり可決・確定する。

委員長 報告事項を聴取することを宣言

報告事項(1)『スポーツフェスタ2015について』

報告事項(2)『横須賀市小学校児童陸上記録大会の結果について』

(スポーツ課長)

スポーツ課からは、2つの報告をさせていただきます。1つ目は、10月12日(月・体育の日)に不入斗公園ほか市内各会場で開催いたしましたスポーツフェスタ2015についてです。

この行事は、多くの市民の皆さまに手軽なスポーツを通して体を動かすことの喜びやみんなで、汗をかく心地良さを味わっていただき、活力・健康増進につなげていただく他、家族のふれあいの場、スポーツ活動としてのコミュニティーの機会を創設することを目的に開催し、今年で11回目となります。

トランポリンやアーチェリー、ビームライフル、ボクシングなど普段あまり経験できないスポーツの体験コーナーやホームタウンチームである横浜F・マリノスのコーチによるサッカー教室、また、新体力テスト、ヨット体験クルーズ、施設の無料開放などを企画しましたところ、親子連れを中心に、約6,200人の方々にご来場いただきました。開催にあたりましては、主管団体としてご協力いただきました横須賀市スポーツ指導者協議会、横須賀市スポーツ推進委員協議会、横須賀市レクリエーション協会、横須賀市体育協会はじめ体育会館の指定管理者など多くの皆さまのご協力をいただきましたことを併せてご報告させていただきます。誠にありがとうございました。

報告事項(1) スポーツフェスタ2015の開催結果については、以上でございます。

続きまして、報告事項(2) 小学校児童陸上記録大会の結果について、報告させていただきます。

市内の小学校46校の5・6年生の代表児童、848名が参加し、10月18日(日)不入斗公園陸上競技場で開催しました。悪天候のため1日延期となりましたが、当日は晴天に恵まれ、男子リレーでは大会新記録まであと0.03秒と迫る好記録が出るなど、子どもたちの日々の練習成果が発揮され、保護者の方からのたくさんの方の声援の中、大盛況の大会となりました。

競技結果については、資料にお示ししたとおりでございます。また、ホームページにも掲載いたしますのでご覧ください。

委員の皆さまには、開会式のご出席もあわせ、ご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございました。

スポーツ課からは、以上でございます。

(質問なし)

報告事項（3）『特別展示「横須賀製鉄所 150 周年記念展」について』

（博物館運営課長）

横須賀市自然・人文博物館では、横須賀製鉄所（造船所）創設 150 周年記念の特別展示として、「すべては製鉄所から始まった ～Made in Japan の原点～」を、開催いたします。

この特別展は、日本の近代化において、極めて重要な役割を果たした横須賀製鉄所が、150 年前に、当時世界最先端の技術を導入して建設され、洋式化を進める国内各所の産業施設へさまざまな技術や機械を供給し、工業界をリードしていった歴史を紹介するものです。

会期は、10 月 31 日から来年 1 月 31 日までの期間で、会場は、博物館本館の特別展示室と、この特別展のために一部リニューアルした常設展示室、及び、ヴェルニー記念館です。

内容といたしましては、本館では、製鉄所首長であるヴェルニー家伝来の「横須賀製鉄所記念アルバム」の 100 インチ大画面での紹介、横須賀製鉄所歴史年表、富岡製糸場をつくった横須賀製鉄所とその交流など、ヴェルニー記念館では、ゆかりの人物に関わる品々などを展示いたします。

なお、会期中、関連行事として、当館学芸員による展示解説を 3 回行うほか、11 月 21 日には学芸員による講演会、11 月 28 日・29 日には展示解説と野外学習を組み合わせた博物館教室を開催いたします。

また、添付しておりますチラシの裏面下段に記載してございます「スタンプラリー」を文化振興課主催で行いますが、この 4 カ所での展示が同時に行われている期間には、すべての施設を回れるよう、11 月 16 日の月曜日は臨時開館いたします。

以上で、博物館特別展示に関する報告を終わります。

（質問なし）

報告事項（4）『第 44 回全日本中学校特別活動研究会神奈川大会について』

（教育指導課長）

第 44 回全日本中学校特別活動研究会神奈川大会についてご報告いたします。

10 月 2 日（金）に、全国理事会・分科会打ち合わせ会・歓迎レセプションが行われ、10 月 3 日（土）に、主張の会・分科会研究協議と分科会講演会が行われま

した。

お手元の資料をお開きください。日程が左側に記載されています。10月3日(土)午前中の主張の会でございますが、例年ですと講演会等を行うものでございますが、横須賀市におきましては、午前中に「主張の会」(兼 かながわ子どもスマイルウェーブ地域フォーラム)といたしまして、討議テーマ「一人ひとりを大切にする学級・学年・学校づくり」に対して、横須賀の子どもを代表して、中学生2名、高校生2名が基調提案を行い、会場の中学生230名、高校生60名がそれぞれの立場で意見交換をし、相互の考えの伸長を図ろうとする活動を、全国からお越しの先生方に参観していただきました。午後に行われました分科会は、会場を産業交流プラザ、総合福祉会館を使い、学級活動4本、生徒会活動2本、学校行事2本の提案、その後、各会場の助言の先生よりご講演をいただきました。

横須賀市といたしましては、校長会が中心となり大会実行委員会を形成し、横須賀の先生方、生徒が中心となって準備にあたり、全国からお集まりの先生方に神奈川の特別活動を発信できた素晴らしい大会になったことをご報告いたします。

(質問なし)

報告事項(5)『神奈川県教育研究所連盟 第62回教育研究発表大会について』

(教育研究所長)

10月13日の開催いたしました「神奈川県教育研究所連盟第62回教育研究発表大会」について報告させていただきます。

本連盟は、県立総合教育センターをはじめとして、教育センターあるいは教育研究所の25施設が加盟している組織であります。

この大会は、輪番制で、毎年、秋に開催し、今回は、横須賀地区が担当地区でありましたので、横須賀市・逗子市・葉山町・三浦市の4つの研究所が準備・運営をいたしました。

当日は、県内各地より総勢411人の出席があり、午前中は、青木教育長の来賓挨拶をはじめとした全体会および本市郷土史家 山本詔一氏による「ペリー来航とよこすか」の記念講演、午後は10分科会に分かれての39本の発表がありました。

お手元にあります、資料をご覧いただけるとどのような発表があったかをご確認いただけます。

内容につきましては、各研究所が直面している課題解決に向けた研究が多数あり、研究討議では、自身の課題と照らし合わせながら、実践的な意見交換が交わされ、実り多き大会でありました。

参加者からは、総合高校の施設面での配慮や学食を利用でき、時間への配慮等たくさん感謝の言葉をいただきました。

以上で報告を終わります。

(質問なし)

(理事者報告なし)

(委員質問なし)

委員長 日程第2は、人事案件であるため秘密会とすることを宣言。
関係理事者以外の退席を求めた。

6 閉会及び散会の時刻

平成27年10月23日(金) 午前10時32分

横須賀市教育委員会

委員長 森 武 洋